



# 帯広西ロータリークラブ

## 第2086回例会

### 2015.4.16

# 会報



■RI第2500地区テーマ■

誠心誠意

Service With Sincerity



■クラブ・テーマ■

「絆を重んじ、信じ合い、輝やけるクラブを目指そう」

## 会長報告

平田利器会長

皆さんこんにちは。

先週は友好クラブであります高松ロータリークラブを訪問してきました。満開の桜の出迎えを受けました。夜間合同例会に参加し、翌日は合同ゴルフコンペを開催していただき、とても楽しいひと時を過ごさせて戴き無事に帰ってまいりましたことをまず以てご報告させていただきます。本日はプログラム委員会担当例会で、「地域産業を考える」ということで佐藤会員に卓話をさせていただきます。さて今日は、若い世代の意識を話題としました。最近若くは若い世代の残虐な殺人事件のニュースが数多く報道されます。そのたびに今時の若者とは思わず口をついて出てしましますが、果たして今の若い世代の人達は、人生や社会、家庭に於いて、どの様な意識を持っているのか知りたくなりました。そこで内閣府が実施いたしました意識調査の結果では、我が国と諸外国の若者、アメリカ、イギリス、ドイツ、フランス、スウェーデン、日本、韓国、の7ヶ国の男女、各国1,000名以上の回答をインターネットによる調査結果を比較発表され世界の若者との比較は、少しは興味深い物があると思われました。その設問は「自分自身に満足している」日本は45%で最下位、トップのアメリカは86%が満足していると回答があり、「自分には長所がある」この設問に対しても日本は、68%で最下位、何とアメリカがトップで93%の若者が自分の長所を理解し満足している結果であります。日本の若者世代の自分自身に対するひ弱さが際だった結果になっています。このほかの設問「仕事がつまらない、やる気がでないと感じたり、何となく湯鬱だと感じる」これは日本の70%の若者が最悪



で、ドイツは30%と回答しています。次に「社会問題に関与したい」設問に日本は40%です。「社会現象を変えられるかもしれない」の設問では日本30%の結果で、何はともあれ社会変革意識も日本は希薄の様であります。但し救いもあります。「自国のために役立つことがしたい」この設問に対しては、7ヶ国中トップの54%、「自国人であることに誇りを持っている」設問に対して70%が誇りを持っていると高いレベルの回答の結果、世界と比較してみて、我が日本の若者世代が活力に欠け将来に対する夢や希望が希薄ということが感じさせる調査結果でありました。果たして高齢化社会、俗に言う今時の大人の反応結果に期待し過ぎてはいけないと思われました。

以上、会長報告と致します。

## 会務報告

天野清一幹事

①帯広南RC、創立25周年記念夜間例会開催のご案内

日 時 4月20日(月)

午後6時30分

場 所 北海道ホテル

②帯広西RC、夜間例会開催のご案内

日 時 4月23日(木)午後6時30分

場 所 北海道ホテル

③帯広RC、4月29日(水)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広北RC、5月1日(金)の例会は、休会と致します。

帯広南RC、5月4日(月)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広東RC、5月5日(火)の例会は、祝日のため休会と致します。

帯広RC、5月6日(水)の例会は、祝日振替のため休会と致します。



会 長 平田 利器  
幹 事 天野 清一

副会長 佐々木和彦  
副会長 飯田 正行

会場監督理事 堂山 啓太  
プログラム委員理事 久保 且佳

発行：広報委員会  
委員長 森 房明 (副)立崎 貴之



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)  
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

## ニコニコ献金 親睦活動委員会 工藤正宏会員

### 谷脇 正人 会員

本日担当例会です。会員卓話よろしくお願ひします。

### 佐藤 聡 会員

先週は卓話の棧会を戴きありがとうございました。基幹産業と元企業の応措をよろしくお願ひ申し上げます。

### 奥田 頼昌 会員

孫が小学校に入学しました。



## 堂山 啓太 会員

上の息子が札幌での新生活を始めました。ただホームシックにかかっているようで今日もこれから会いに行きます。日帰り週三回札幌はつらいです。

## 鎌田 裕樹 会員

おかげさまで「おおえメンタルクリニックゆう」の開院一周年を迎えることが出来ました。

ニコニコ 献金	4月16日	10,000円
	累計	600,108円 (4月16日現在)

## プログラム

## ロータリー情報委員会 谷脇正人委員長

## 「会員卓話」



## 河合 敏 会員



すでに緊張しております。本日1人目ということで緊張しているんですけども、今、食事中にですね、1人目は適当にやっていたら最後の3人目がしっかり締めるからというお話でしたので、私、気楽にやらせていただきたいと思っております。改めてですね自己紹介をさせていただきますと、仕事のほうは税理士をやっております。市内西9条南9丁目白樺通り沿いにですね税理士法人あおぞら会計という事務所がございまして、そこの代表をやらさせていただいております。生年月日なんですけども、昭和38年2月10日生まれ、52歳になります。それですね、くしくもこちらの会員の先輩でいらっしゃいます萱場会員が昭和38年2月10日生まれと、まるで同じ会員の先輩がいらっしゃいます。先ほども2人で病院で取り間違えられていないかとちょっと心配していたんですけども、どうやら違う病院みたいなので安心しております。家族はですね、家内、そして25歳になります娘。この娘今、お婿さん募集中なので皆さん是非よろしくお願ひします。それと東京の大学に行ってます大学1年生の長男、埼玉県の方の高校に行っております、高校3年生の息子。そして犬一匹という家族構成となっ

ております。それですね、私の現在の唯一の楽しみというのがですね、この埼玉栄高校というスポーツに結構力を入れている高校なんですけれども、ここでうちの息子はなぜか北海道にいながらそのアイスホッケー部に行きました。それでゴールキーパーをやっているんですけども、埼玉ではアイスホッケー部があるのは、埼玉栄高校だけです。埼玉ではマイナースポーツなんですけども、埼玉栄高校はホッケー部は全員合宿、それで今でこそちょっと寮が変わったんですけどもうちの息子が入った当時は6人部屋という非常に過酷な環境でして、それで練習しております。インターハイですね、残念ながら決勝では苫小牧の駒沢高校に負けたんですけども、それでも準優勝ということで、一生懸命頑張っておりますので、その息子の試合を各地に転戦して追っかけをしてというのが私の今の楽しみでありますし、これが夫婦円満の一役もかってくれてるかなという風に思っております。今日、私何をお話したらいいのかなと谷脇さんから7、8分と言われたんで、今で2、3分経ちました。それですね、何お話したらいいのかなと思ったんですけど、一応私、税理士ということなので、ちょっと皆さんも興味があるかなということですね、相続税、今年からですね相続税が増税になったというお話、皆さんテレビ等で見てるかと思うんですけども、ちょっとそのお話をさせて

いただきましたという風に思っております。今日はですね幸いなことに同業の久保先生がいらっしゃらないので、多少嘘を言っても大丈夫かなと安心しております。多少もし嘘があったらごめんなさい。今回、相続税が改正になったんですけれども何が一番改正になったかといいますと、基礎控除と税率の改正が行われたんですけれども、この基礎控除の改正が非常に影響を与えられているとされています。基礎控除というのはですね、定額控除というのと比例控除というのがあります。定額控除というのは昨年までは5000万円とりあえず死んだ方1人について5000万円それプラス比例控除、これはですね法定相続人等は4人家族でご主人が亡くなったとしたらこれ1人につき1000万円そうすると比例控除はこれの通常の四大家族でご主人が亡くなったとしたら、先ほどの5000万と足して8000万の基礎控除というのがありました。結構この基礎控除があるおかげで、相続税がかからない特にあの、大都市圏はやはり土地が高いですけれども、この十勝辺りではですね、そこそこ8000万の基礎控除があれば8000万より財産が越えなければ相続税はかかりませんから、これで結構みなさん相続税がかからないなという人が多いです。今年からなんとどういう風になったかという、4割減、4割も削減されました。ですから先ほどお話させていただいた、定額控除これは3000万円、そして比例控除これは一人につき、600万円という形で削減されてしまいましたので、基礎控除が8000万あったのが、今度4800万しか基礎控除なくなってしまいました。ですから4800万を超える財産をお持ちの方これは今年の1月から相続税がかかってしまうということになりました。これが結構微妙なラインでし

て、この4800万に基礎控除が下がったことによってですね、おそらく相続税の納税者が倍になるんじゃないかという風に言われています。今までは大体年間120万お亡くなりになって、そのうちの約4% 5万人ほどが相続税の納税の義務があったんですけれども、それが大体7%から8%お亡くなりになった方の相続税を納税しなければならなくなるという風に言われています。いかかでしょうね、4800万という数字。森さんいかがでしょう、楽々超えていますよね。微妙ですか。微妙な方が今年度の改正で課税されますので、それですね、小谷会員みたいな方は基礎控除が多少変わっても影響はないのでよろしいんですけれども、微妙な方にとってはほんとに微妙な改正です。昨年までですと結構お客さんから相続税来年から上がるけどどうしたらいいのと、私、冗談半分でごう答えてました。できれば今年中にお亡くなりになるのが一番ご家族が喜ぶかもしれませんねと、そんなことでですね一応私とりあえずこういう仕事させていただいてますので、相続税のお話今日させていただきました。本日のお話では全然足りないし、疑問点もあると思いますのでなんかちょっと困った時には、遠慮しないでわたしに久保先生に聞いていただければと思います。もちろん本日参加の皆さんは無料でお答えさせていただきます。小谷先生の場合には高額な金額をもらうことになるかと思いますが、そういうことですね、最後になりますけれども、私ほんとにまだまだロータリーのことわかりません。毎回毎回のですね、この積み重ねを大事にしてですね、早く皆さま方のような立派なロータリアンになっていきたいと思っておりますので、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



## 山岸 栄二 会員

第一興商という会社は、カラオケのメーカーです。カラオケのソフト(楽曲)を作成しています。以前は通常新曲が発売されたらその曲を聴いて楽譜に楽器の演奏をすべて落とし込み、カラオケの楽曲を一曲ずつ作成していきます。メジャーな曲は楽譜を提供されますが、マイナーな曲は楽譜がありません。(演奏楽器の)通信カラオケには毎月300曲以上の新譜を配信しています。現在日本のカラオケの占有率は、第一興商が70%程です。

カラオケBOXのビッグエコーを初めとした飲食店

舗事業を行っています。カラオケチェーン店では、400店舗を超えて店舗数全全国一です。帯広では福原館ビル1Fで営業していますのでよろしくお願いいたします。

音楽ソフト事業 日本クラウン株式会社 徳間ジャパン等のレコード会社も第一興商の子会社です。十勝では、さくらまや、戸川よし乃が日本クラウンです。みなさん応援よろしくお願いいたします。

業務用BGM放送事業 100チャンネルの音楽ラジオ放送も行っております。BGMのご用命は当社へお願いいたします。

カラオケ業界は特にナイト(スナック・クラブ)店が年間7000件ほど減少しています。要因は、スナック・

クラブの乗客であった団塊の世代の高齢化、若者の飲み屋離れと少子化があげられます。そしてこれから2025年問題があります。2025年問題とは、

- ・65歳以上の人口が3,600万人(全人口の30%)
- ・団塊の世代の4人に1人が75歳以上に到達
- ・1人の高齢者を1.8人で支える事になります。
- ・社会保障給付費(年金・医療・介護) 151兆円(GDP比24.9%)へ増加します。介護費は19.7兆円にも増大いたします。

[今後の課題] 単に平均寿命でなく、介護が必要な期間を短くして、自立し豊かに暮らせる期間をながくする。つまり「健康寿命」を伸ばす事にあります。このような状況下多くの企業がシニアマーケットに参入しておりますが、第一興商もカラオケを使用し

た健康増進・介護予防プログラムの研究を東北福祉大学・鶴見大学と行い音楽と体操、歌を歌うことによって口腔内環境の改善、歌を歌うことによって唾液分量が増加し唾液中のストレス物質が減り免疫力が上がります。又腹式呼吸によるCOPDの改善・認知症の予防効果・ストレスの改善等のエビデンスを取得致しました。又、一般社団法人 日本音楽健康協会を立ち上げまして、音楽健康指導士によるレクレーションも行っております。みなさんこれからの日本の課題、高齢化社会における、健康寿命を延ばすということにカラオケは一つの重要なアイテムになるかもしれません。是非、第一興商のカラオケを今後ともよろしく願いいたします。有難う御座いました。



## 近藤 真治 会員

皆さんこんにちは。卓話ということで大体20分位の話ですればいいのかなんて思ひまして考えてきたんですけど、時間の都合上2、3分でもよろしいみたいで、私としては昨日一昨日ですかね、月曜日ですね谷脇さんから電話来て木曜日来れるんだよねということで、はい行きますと言ったんですけど、忘れてないよなぐらいの話ですっかり忘れてたんですけど、困ったなと思ひまして、何を話せばいいのか、他の方がそういう卓話をしているの見てないんで、どうしよかなって思ったんですけど、昨日の夜ですね他の会がありまして、打ち合わせありまして、それを終わったらすぐ家に帰って考えようと思ったんですけど。気づいたら、とあるビルのエレベーターのボタンを押してまして、そこまで考えてたのを家についた2時にはすべてリセットされてましたので今日ほとんど考えてない状態できました。私は今年5月で43歳になります。うちの会社に入ったのが、12年前ですね、それまで全然違う仕事してまして、正直なところ、会社に入るんだとか、会社に戻るんだとか全くなかったんで、ある日突然会社に来ないかってことでこれはちょっとラッキーなんじゃないか通常はいわゆる引き抜きみたいな感じなんで、給料上がるかなって思ったんですけど、月額が上がってたんですけども最終的に

は年収は下がってました。つまりボーナスがほとんどなかったんですね、月額で騙されたっていう感じで、それが8年ぐらいつつと続いている状況でこれもしかしたらやめたほうがいいんじゃないかなって一瞬思ったんですね。その時に今年からお前取締役になれとちゃんとさっきの会長の話じゃないんですけど、後継者として頑張っていかなきゃ駄目だぞ、わかりましたということで、受けてですね、就任挨拶のハガキを作って郵送した日ですね夜に取引先の大倒産というものがわかりまして、次の日には市内のお客さんのところには、私の取締役就任のハガキと一般企業の負債総額No.1という通知が同時にお客さんの机の上に上がる状況になってまして、かわいそうになって、取締役就任して1ヶ月もしないでなくなるんだと皆さんから心配されましたが、なんとかかんとか皆さまのおかげで3年間は今のところ無事に持っております。あと1分程ですね、ロータリーに入ってから気づいたら半年経ってまして、この半年間って自分にとってはどうだったのかなって思うと、やはりいろんなポケットが増えたと、知識としてのポケットや人との接し方、こういう所に立って話すときにはどう話したらいいのかっていうのが増えてきたと思います。これは毎回例会終わるたびに今日はこういうことが身についたなということを実感して帰れることです。途中なのですが時間になりました。